



楠公の里瓦版

第89号

令和 元年 6月30日

金剛山千早赤阪倶楽部

E-Mail: kongomt.chihaya.akasaka.club@gmail.com

HP: http://www.kongozan-chihayaakasaka-club.com

(連絡先) 西野敏彦 090-6326-0497

辰巳 晃 090-3973-2931

奥田佳三 090-5040-1923

山本正史 080-8505-3218

(事務局) 山本庄一郎 080-5314-0075

(広報) 橋本 渉 090-2040-5091

<事務局からのお願い>

金剛山千早赤阪倶楽部では、倶楽部員を募集しています。登山・登山道の整備、そば栽培・花菖蒲園・あじさい栽培等々に興味のある方ならどなたでも参加いただけます。

入会金・会費は不要です。(但し、保険料含む300円/回を徴収)

入会をご希望の方は、各月の活動日に直接、集合場所にお越しください。

お問合せ等は、右の連絡先又はメールでお願いします。



おはようございます (撮影: 西野会長)



花菖蒲

「四拾町」の町石の運搬と、春そばの収穫を行いました

天気は曇りで、幸い雨を避けられ朝のミーティングの後、町石運搬組(6名)と、春そば収穫組(11名)に分かれスタートしました。

キャタピラー運搬車に町石を積み、二河原辺小屋から登山道を登り、四拾町地点まで運び上げました。畑の春そばは、実の成りは七分位ですが、初めての収穫に漕ぎ着けました。午後からは登山組も合流して、一気に収穫を終えました。そして二河原辺花菖蒲園に肥料の散布を行い、来年の開花に備えました。

山は夢・山は学・山は人

辰巳 晃

『金剛山登山者と千早赤阪村の村民が、金剛山の自然を共存して、共に豊かな自然を守り、活性化した登山スポーツを發展させて、人と自然の関わりを育む事を目的とし、千早赤阪村の自然界、遺跡・歴史的建造物に、人を誘い、安全に楽しめる環境を整備し、多くの人々と千早赤阪村の活性化に寄与すること』と会則に倶楽部の目指す目的が記されています。

私は“我が故郷のやま金剛山で、人や自然を介して山のすべてを学ぶ”姿勢で臨んでいます。

会の発足から間もなく8年になり、ハード・ソフトに一定の成果を感じています。何よりの成果は、参加者の一体感・心のつながりの深さに感動しています。

今後の活動に“夢をのせて”考えてみたいと思います。

① 水分道は「赤阪古道・令和の町石道」として五丁毎に町石のある道に整備。

② 桐山道は「もっともっと歴史の道」を強調し、景観の良い道に整備。

③ 足谷林道は日暮から「足谷川を遡行して1000m登山最短道に!」しよう。

④ 登山者の安全確保を第一に“登山道整備”を心がけよう。

⑤ 倶楽部を次世代へ継承(役員や参加者の10歳若返りを図ろう)。

⑥ 地域の自然・農業・歴史建造物・花・蕎麦等を媒体として「元気な山麓の生活を」表現したい。

さあ、みんなの夢と希望と英知をもって山に向かおう



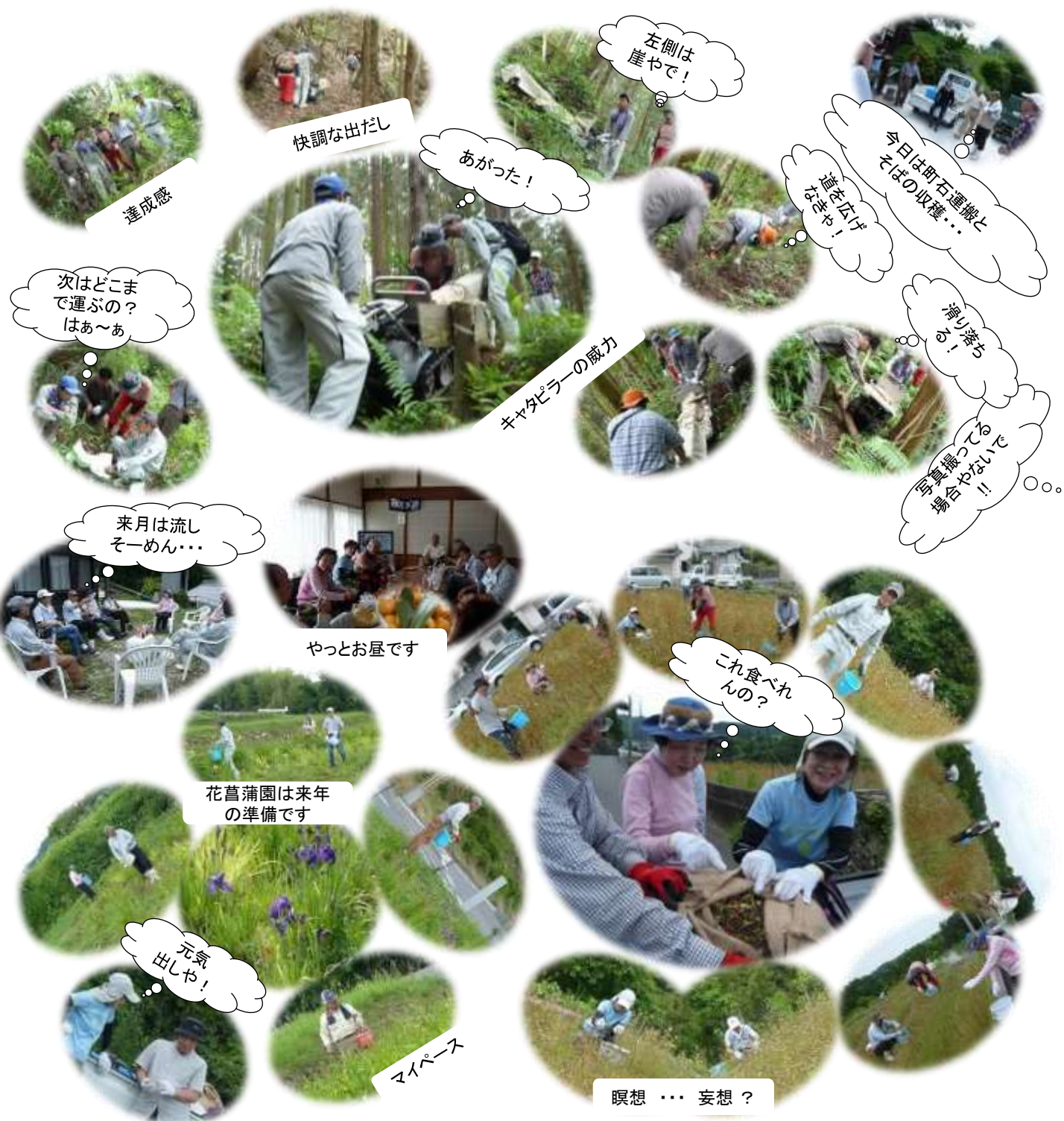
アジサイ

● 日 報 6月23日(日) 曇 参加者 17名

参加者(受付順) 西野敏彦、高見義一、新田徹雄、山本正史、山本庄一郎、中村仁、中村史子、辰巳晃、松田玲子、橋本渉、日谷修、日谷洋子、池田文俊、伏見勝也、奥田佳三、田村陽、盛永正治

活動内容 ① 「四拾町」の町石を設置予定地点まで運搬、設置作業は残りの町石と併せ11月頃の予定

② 春そばの収穫と二河原辺菖蒲園の肥料撒き



<富田林 ⇒ 森屋 バス時刻> 富田林駅前(発) 8:20(水越峠行き) 8:35(千早ロープウェイ前行き)

<次回のご案内>

- 7月28日(日) * 昼食に、流しそうめん & 赤ねこ餅をいただきます *
- 会費 300円 (流しそうめん代)
- 集合場所 二河原辺集会所
- 時間 9時集合
- ※ 電車で来られる方は、富田林駅から金剛バスで「森屋」まで来て下さい
「森屋」バス停まで送迎できます

<活動予定>

- ① 流しそうめん & 赤ねこ餅 (郷土料理です) を集会所の前で行います